



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

2012年（平成24年）3月29日

資料提供先：福山記者クラブ
府中記者クラブ
尾道記者クラブ
三原記者クラブ

芦田川水系河川維持管理計画

（国管理区間）を策定しました。

記者発表資料

芦田川水系において「安全・安心な暮らしが持続可能な芦田川」を目標に、より効率的・効果的な維持管理を計画的に進めていくため、河川の維持管理についての具体的な内容を定めた「芦田川水系河川維持管理計画（国管理区間）」を策定しましたのでお知らせします。

なお、本計画は、福山河川国道事務所のホームページでご確認いただけます。

問い合わせ先：国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副所長（河川） 富田 道秋

（担当）河川管理課長 國光 謙二

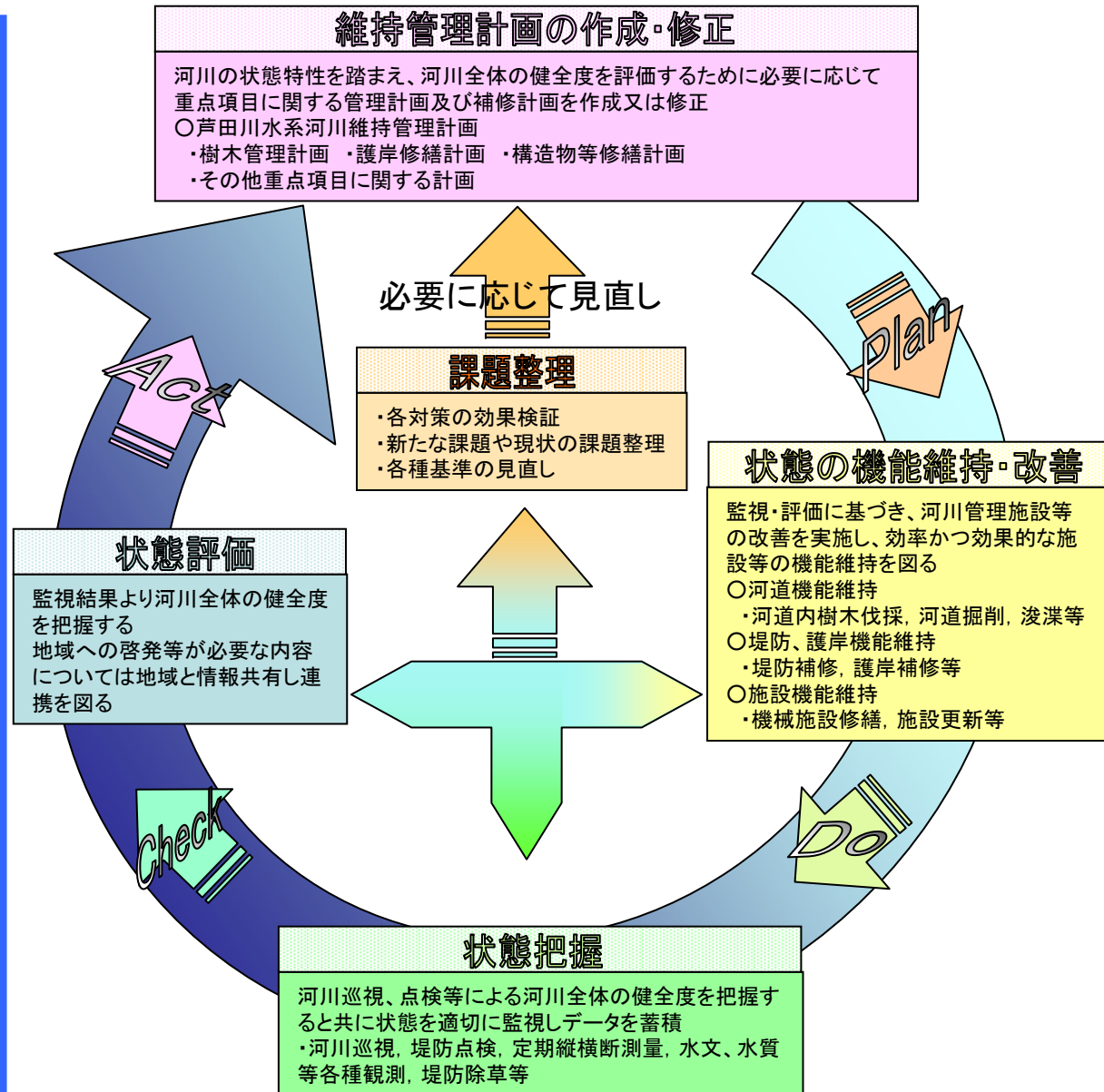
TEL (084) 923 - 2511 (ダイヤルイン)

TEL (084) 923 - 2620 (代表) FAX (084) 923 - 2517
ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

◆芦田川では、「芦田川水系河川整備計画（平成20年策定）」及び「河川砂防技術基準維持管理編（河川編）（平成23年5月策定）」に基づいて「芦田川水系河川維持管理計画（国管理区間）」を策定

◆本計画は、「安全・安心な暮らしが持続可能な芦田川」を目標に河川の状態を十分踏まえ維持管理目標や河川の状態把握方法等について具体的に設定

◆河川の維持管理は、河川及び河川管理施設等の状態把握を常日頃から継続的に監視を行っていくことが重要であることから、状態変化の監視・評価・評価結果に基づく改善を本計画に反映していく、「サイクル型維持管理」の体系を構築し、効率的・効果的な維持管理を実施する



芦田川のサイクル型維持管理のイメージ

芦田川水系において河川管理上留意すべき事項

治水

(1)河道内管理

洪水により河道が攪乱される頻度が少なく、中州の発達及び樹木の繁茂が進行し流水を阻害しているため、中州の掘削や樹木伐採を計画的に実施することが必要。また、堰等の横断構造物による河積阻害等により、流下能力が低下している区間が存在しているため、河積確保が必要。



河道内樹木の繁茂状況

(2)堤防の浸透に対する安全性

築堤年代が古いため、浸透に対して危険な区間について、洪水時に法尻部の監視が必要。

(3)旧河道跡等の洪水時の監視対応

芦田川には旧河道跡が多く、洪水時には堤防において、漏水等の監視が必要。

適正な河川利用

(1)水利用と渇水時における調整
年間降水量が少ない上に河川水の利用率が高いことから、渇水時の被害を最小限に抑えるために取水調整を円滑に進めることが必要。

(2)芦田川河口堰の管理
河口堰の機能を適切に発揮させるためにゲート操作等の適切な管理・運用が必要。

(3)ホームレス対策
河川利用の妨げとなることから、地域行政やボランティア団体との連携による対策が必要。

(4)不法投棄
不法投棄量が減少傾向にないことから、継続的に状況を把握分析した上で対策を講じる必要がある。

河川環境

(1)芦田川下流部の水環境改善対策

芦田川下流部において、水質の環境基準の達成のために、水質改善に取り組むことが必要



芦田川下流域浄化施設

(2)ユスリカ対策

河口堰完成に伴いユスリカの発生が問題となっている。継続的に対策を実施していくと共に、効果の検証及びより効果的な対策方法への改善を進めることが必要。

芦田川水系の維持管理目標

河川維持管理目標の設定

◆「安心・安全な暮らしが持続可能な芦田川」を目標とし、本来河川に求められる治水・利水・環境の機能が低下した場合、これを適確に把握・評価し効率的・効果的な維持管理を実施する。

1.河道流下断面の確保

洪水を安全に流下させるため、効率的な堆積土砂の掘削や、樹木伐採を実施する。また、樹木伐採においては、地域住民による樹木伐採、伐採木の配布を行い、住民参加型の河川管理を目指す。



3.河川区域等の適正な利用

不法行為に対する情報を蓄積し、効率的かつ効果的な河川巡視を実施し不法行為への速やかな対応と地域行政やボランティア団体との連携により抑制を図る。



4.河川環境の整備と保全

芦田川に生息する動植物の生息・生育・繁殖環境、良好な景観の保全、とくに下流域で悪化している水質の改善を図り、自然環境と河川利用の調和のとれた河川環境の維持に努める。



2.施設の機能維持

洪水時に堤防や河川管理施設の機能を発揮できるよう河道内の状況把握や施設等の点検・管理を行い、必要な対策を実施し施設の機能を維持する。



河川の状態把握・評価

1.基本データ収集

水文・水理等観測、測量、河床材料調査、河川水辺の国勢調査、など



2.堤防点検のための環境整備

堤防除草
除草後の集草 など

3.河川巡視

平常時の巡視、
出水時の巡視 など



4.点検

出水期前・台風期の点検、
出水中(後)の点検、
機械設備を伴う河川管理
施設の点検 など



5.河川カルテ

河川カルテへの情報蓄積 など

状態の機能維持・改善

1.河道の維持管理対策

河道管理(河道内樹木伐採) など

2.施設の維持管理対策

堤防・護岸・樋門等の河川管理施設に明かに支障があると判断した場合は、施設の機能を維持するために必要な対策を実施(法面護岸等補修、コンクリートひび割れ補修、機器の交換 など)

3.河川区域等の維持管理対策

看板設置、夜間巡視、広報活動、ゴミマップ公表、警察等の関係機関や地域住民との連携、河川清掃 など

4.河川環境の維持管理対策

水質浄化に関する啓発活動 など

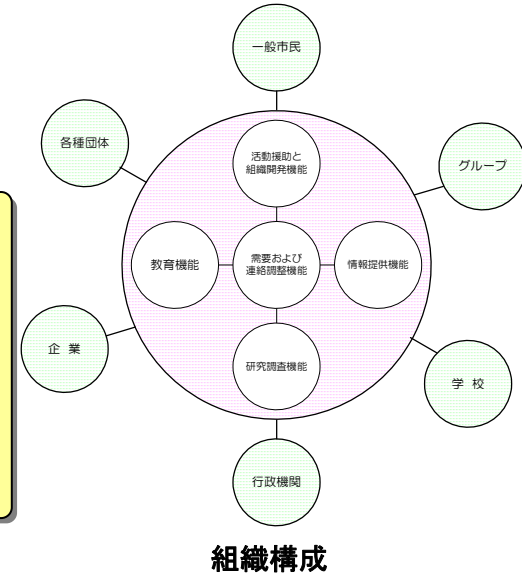
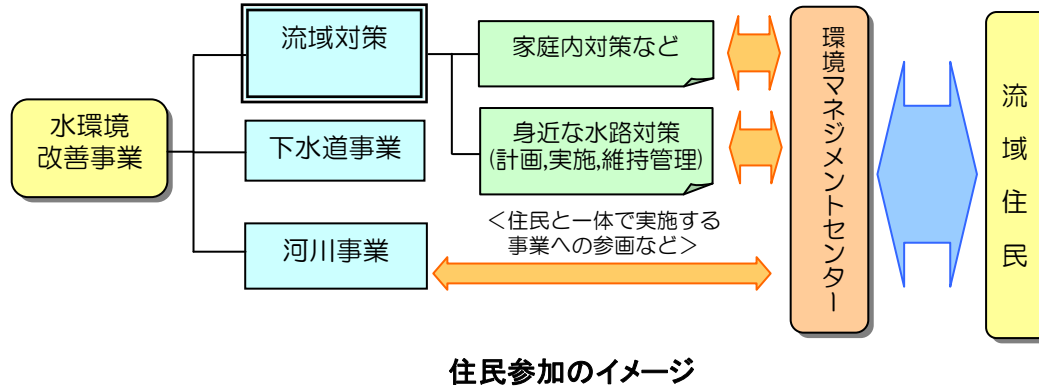
5.水防等のための対策

協議会による事前の連絡体制の確認、FMふくやまへの緊急放送、水質事故訓練の実施、洪水予報・水防警報の発表、洪水予報連絡会・水防連絡講義会において、関係機関への周知徹底 など

芦田川水系の地域連携等

1. 芦田川環境マネジメントセンター等との連携

市民、事業者、環境団体、行政等が連携して各種支川活動を行う組織として「芦田川環境マネジメントセンター」を設立。



2. 河川の協働管理

福山市と協力して河川公園「ちやぷちやぷらんど」を整備し、公園の清掃や草刈り等の維持管理は市民団体が実施。府中市土生地区では、地元市民が主体となって河川敷の清掃等の維持管理を実施。



3. 水環境の保全

「芦田川下流水質浄化協議会」において、総合的な水環境改善の取り組みを推進。



4. 水質事故への対応

「芦田川水質汚濁防止連絡協議会」を通じて関係機関への連絡、住民への周知。

5. 渇水時の対応

「渇水調整協議会」の開催し調整を図る